

おやま 市議会だより



第251号

●主な内容

小山市地産地消及び食育の推進に関する条例を制定

議案とその内容……………②
請願・陳情……………②
常任委員会報告……………③

市政一般質問……………④～⑪
議会日誌……………⑫
表彰……………⑫

平成23年8月1日号



おいしい野菜をたくさん収穫できました。(間々田東小学校農園)

小山市議会

編集 議会広報委員会

6月 定例会のあらまし

平成23年6月7日～6月28日

主な議決議案

6月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆**小山市地産地消及び食育の推進に関する条例の制定について** 生産者、消費者、事業者、教育関係者および市民が一体となって地産地消および食育を推進し、農業を将来にわたって持続的に発展させるため、施策に関する基本的事項を定める条例を制定するもの。
内容 地産地消等推進のための活動、安全で安心な農畜産物等の供給等、地産地消等の推進体制等について規定する。
施行日 公布の日
◆**小山市条例の一部改正** 東日本大震災の被災者の負担

平成23年第3回（6月）定例会は、6月7日～6月28日までの22日間の会期で開かれました。本定例会では、条例の制定案、一部改正案をはじめ、規約の変更、財産の取得案について審議しました。

6月7日、市長から市政一般および近況について報告があり、続いて議案11件、報告6件が上程され、提案理由の説明を受けました。

6月9日、10日、13日、14日は、23人の議員

が登壇し、市政に対し一般質問を行いました。6月14日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、16日、17日、20日、21日に各常任委員会が、それぞれ開かれ、審査を行いました。

28日には、各常任委員長報告があり、審議の結果議案11件を可決、さらに、議員提出議案1件が追加上程され、これも可決し、定例会を閉会しました。

の軽減を図るため、地方税法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が平成23年4月27日に公布されたことに伴い、所要の改正をするもの。

改正点 〈市民税〉①大震災による住宅や家財等に係る損失の雑損控除について、平成23年度市民税で適用できるよう定める。②住宅ローン控除の適用住宅が、大震災により滅失等しても、平成25年度分市民税以降のローン残存期間について継続適用できるように定める。〈固定資産税・都市計画税関係〉③大震災によ

る災害により滅失・損壊した住宅（被災住宅）の敷地の用に供されていた土地（被災住宅用地）を平成24年度から平成33年度については、住宅用地とみなして課税標準の特例措置が適用できるようになったため、その申告等の手続きについて定める。

施行日 ①および③公布の日
②平成24年1月1日

◆**小山市工業振興条例の一部改正** 小山東工業団地を始めとする市内工業用地への工業等立地者の誘致を促進するとともに、さらなる市内の工業の活性化、産業の振興を図るため、所要の改正をするもの。

改正点 奨励金の交付の対象となる工場等の分譲による取得日から操業開始日までの期間を、「3年以内」から「5年以内」とする。奨励金の額

を、固定資産税相当額の3分の2に相当する額（5千万円を限度）から、固定資産税に相当する額とし、限度額を削減する。土地取得助成金の額を、投下固定資産総額にに応じて段階的に助成する。

施行日 公布の日

◆**小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正** 団員の高齢化が進み、最も確保すべき30歳未満の団員が減少傾向にあることに伴い、任用要件を変更し担い手不足を解消するため、所要の改正をするもの。

改正点 本市の区域内の学校に在学する者および事業所等に勤務する者が消防団に入団できるよう変更する。

施行日 公布の日

請願・陳情

6月定例会では、新たに受理した陳情1件を審査しました。その結果、閉会中の継続審査としました。

新たに受理したもの

陳情 1件

●**エネルギー回収推進施設に関する陳情書**

〔提出者〕 小山市外城12-4 南外城自治会長

外所 正彦

〔趣旨〕 都市施設（各種処理場）の分散化をうけ、小山市が担うこととなる「エネルギー回収推進施設」を、現在の塩沢地区以外の場所に新設してほしい。

▽**審査結果** 継続審査



早期売却が望まれる小山東工業団地

常任委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各常任委員会で慎重な審査を経ていきます。6月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼東日本大震災に対処するため
の小山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の特例に関する条例の制定について

問 職員がこれまでに取得したボランティア休暇の実績は。
答 4名の職員がこれまでにボランティア休暇を取得しており、さらに1名の職員が取得を予定しています。
▼小山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

問 職員の年次有給休暇の日数と特別休暇の内容は。
答 職員の年次有給休暇の基準は通常20日です。この年次有給休暇とは別に、ボランティア休暇や結婚休暇など21項目の特別休暇があります。
▼財産の取得について

問 購入予定の化学消防ポンプ自動車の仕様は、一般的な

ものか。

答 ワンタッチ呼吸器取付け装置や、はしご自動昇降装置については、小山市消防本部が独自に選定し装備するものです。なお、この2点の装置については、平成7年に購入した車両から、順次搭載してあります。

▼財産の取得について

問 入れ替えとなる救急自動車の今後の活用は。
答 この救急自動車は、走行距離が24万キロ以上なので、予備車両として活用する考えはありません。

民生消防



▼小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

問 本市の事務所もしくは事業所に通勤する者または区域内に存する学校に在学する者も消防団員として任用できる、とする条例の改正を提出した

背景は。

答 消防団員の高齢化が進み、定員割れが生じている分団が市の中心部にあり、消防団員の確保が困難になってきていることから、これまで当該分団の区域に住所を有する者に限定していた任用要件を、市内全域に住所を有する者、区域内にある事務所もしくは事業所に勤務する者または区域内にある学校に在学する者のようにするための改正です。

問 条例を改正した場合における消防団員確保の見込みは。
答 まず市内の学校に在学する方を消防団員に任用するため、大学や専門学校に働きかけます。また、高等学校においても就職を控えた方に向け、リーフレット等を作成し、任用用紙を添付して学校の事務局等に配布するなど、団員を確保できるよう啓発を図っていきます。

問 市外から通勤、通学する人の訓練をどうするのか。

答 現在は土曜日、日曜日の訓練が主体ですが、各分団長の裁量で、市外から通勤、通学する人の休みの日に技術習得指導および訓練が実施されますので、体制等については

問題ないと認識しています。

教育経済



▼小山市地産地消及び食育の推進に関する条例の制定について

問 福島第一原発事故が収束するまで、農地の放射能測定などを条例に盛り込むことはできないか。

答 土壌の成分検査は、今のところ国の指導を受けた県が実施しており、市単独で検査しているわけではないため、条例に盛り込むことは難しいのが現状です。

問 学校等の施設において、給食その他の食品の提供を行うときは、市内農畜産物等を優先的に使用するよう努めるとあるが、学校給食については、市が学校に地元の農畜産物を使用するように指導するのか。

答 今までも教育委員会と連携し、米パンなど小山産のものを使用しているのですが、今後は野菜関係などを利用していただくように教育委員会にお願いしていきます。

▼小山市工業振興条例の一部改正について

問 工業団地売却の見通しは、

また、企業情報はどこから求めているのか。

答 東日本大震災直後ということもあり、1年での売却は難しいと考えています。また企業の情報収集については、市からのダイレクトメールの送付、市内工業団地組合への情報提供、そして栃木県の東京事務所と協力し、小山市の物件の案内をしてもらい、問い合わせのあった企業に説明に行くようにしています。

建設水道



付議議案はなく、閉会中の継続調査事件について審査しました。



リニューアルした小山運動公園陸上競技場(向野)を視察する建設水道常任委員

議員提出議案

定例会最終日、大山典男議員ほか5名の議員から小山市農業委員会委員を推薦する議案が提出され、原案どおり可決しました。

- 小山市大字下初田760番地 大出 君江
- 小山市大字南和泉1302番地2 永嶋 朋子
- 小山市大字福良903番地 石島 政己
- 小山市大字羽川362番地8 山口 忠保

特別委員会を設置

(平成23年6月14日設置)

小山市民病院整備対策特別委員会

趣旨 小山市民病院が県南地域の中核病院として機能するために、建物、施設等の整備、充実を急務とすることから、議会においても小山市民病院の整備に関し調査研究するため設置するもの。
所管事項 小山市民病院の整備に関する調査研究について

委員定数および構成員 定数14名

- 委員長** 大山 典男 **副委員長** 生井 貞夫
- 委員** 大木 英憲 野原 勇一 荒井 覚
- 篠崎 佳之 小林 英恵 福田 洋一
- 五十畑一幸 山野井 孝 大出 ハマ
- 石川 正雄 青木美智子 角田 良博

小山駅周辺都市整備対策特別委員会

趣旨 小山駅西口周辺街なか居住推進事業を始め、小山駅中央自由通路整備事業や小山駅東口新都市整備事業が進められていることから、議会においても小山駅周辺の都市整備に関し、よりよいまちづくりを調査研究するため設置するもの。
所管事項 小山駅周辺都市整備に関する調査研究について

委員定数および構成員 定数14名

- 委員長** 山口 忠保 **副委員長** 石島 政己
- 委員** 福田 幸平 植村 一 荻部 勉
- 上野 明宏 森田 晃吉 橋本 守行
- 岡田 裕 中屋 大 岩崎 昇
- 小川 亘 荒川美代子 関 良平

交通事故対策特別委員会

趣旨 小山市においては従来から交通死亡事故等が多発している状況を憂慮し、議会においても交通事故防止に関する調査研究をするため、設置するもの。
所管事項 交通事故防止に関する調査研究について

委員定数および構成員 定数28名

- 委員長** 山野井 孝 **副委員長** 大出 ハマ
- 委員** 大木 英憲 福田 幸平 植村 一
- 野原 勇一 荻部 勉 上野 明宏
- 荒井 覚 篠崎 佳之 小林 英恵
- 森田 晃吉 橋本 守行 岡田 裕
- 福田 洋一 中屋 大 五十畑一幸
- 岩崎 昇 小川 亘 荒川美代子
- 石川 正雄 青木美智子 関 良平
- 生井 貞夫 角田 良博 石島 政己
- 大山 典男 山口 忠保

市政を問う

6月定例会市政一般質問

6月9日から14日にかけて、23人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

地域防災計画の見直し

山口 忠保

問 東日本大震災を受け被害想定、備蓄、帰宅困難者、要援護者、避難所機能など地域防災計画の抜本的見直しを。

総務部長 現在の地域防災計画は、平成19年に策定したもので、県央を震源として直下型の震度6強または6弱の地震を想定したものです。今回の東日本大震災では、市内の震度は5強で、ガス、水道の被害はありませんが、想定外の約1400名の帰宅困難者が発生いたしました。今後は、実態にあつた地域防災計画となるよう見直しを図ってまいります。

太陽光発電の推進



しらすぎ館に設置された太陽光発電パネル

問 脱原発へグリーン電力証書や太陽光リース事業でさらなる太陽光発電の推進を。さらにバイオマス発電や小水力発電を。

市民生活部長 グリーン電力証書制度の運用については、太陽光リース事業においてグリーン電力

を活用することなど、引き続き制度の実現に向けて研究します。バイオマス発電については、プランクの建設場所や費用等に課題がありますが、引き続き調査研究していきます。また、小水力発電については、農業用水路の改良により、水路式の導入を進めていきます。

東日本大震災 市の負担

関 良平

問 東日本大震災で市が対応した救助関係費は、最終的にどのように負担されるか。

市長 小山市は災害救助法の適用地区となり、救助に要した10種類の経費のうちの一部が県費で賄われることとなります。この度の東日本大震災では、約1400人の帰宅困難者の救護にかかった費用約1200万円のうち、170万円が県の負担となりました。また、家屋の損壊等に対する2万円の見舞金、住宅修繕補助金、改修資金の利子補給、固定資産税等の減免、ボランティア活動への助成等の経費については、災害救助法の対象とならず、市の負担となりますが、国からの特別交付税や市民の皆様からの義援金を充てる考えです。

自治会振興費見直し

問 自治会振興費の見直しは。

市民生活部長 現在の自治会振興費については、防犯等の施設費及び維持費は、補助率65%、限度額120万円。共同作業費、公民館の賃借料等は、補助率35%、限度額70万円。公民館の新築は、補助率35%、限度額300万円。改築または修繕の場合は、限度額を200万円としています。この制度は改正してから10年が経過していることから、近隣市の状況等も考慮し、見直しの検討を進めたいと考えています。

総合計画・地域防災計画の見直し

青木 美智子

問 本庁舎は東日本大震災で対策本部を設置できない状況でしたが、巨大地震を想定して総合計画や地域防災計画の見直しを。

企画財政部長 防災拠点については、平成26年に整備が完了する新消防庁舎の2階に災害対策本部機能を持たせることとしており、本庁舎の建て替えについては、庁舎建設基金の増額確保を図り、見通しが立った段階で検討します。



市役所別館に設置された罹災証明受付窓口

総務部長 現在の地域防災計画は、災害の種類ごとに対策等を定めています。今回のような多くの帰宅困難者や原発事故は想定されていなかったことから、今後見直しをします。

博物館の充実

問 乙女河岸記念館の整備計画には無理がある。無駄な箱物はやめて近くの博物館を充実させ、小山の歴史を正しく伝える企画展示を。

建設水道部長 当初は、思川舟運の拠点でもあった乙女河岸に係資料等を常設展示する施設を整備する考えでしたが、この度の東日本大震災による今後の経済状況および市の財政状況を鑑み、近接する博物館の展示内容を充実させて公開することとして、乙女大橋下流左岸付近に、船着場、モニュメント、休憩施設、トイレ等を整備する考えです。



展示内容の充実が求められる博物館

住宅リフォーム助成制度

石川 正雄

問 住宅リフォーム助成制度について

建設水道部長 震災の影響で住宅のリフォームの需要も増加してくると思われ、一般住宅の個々のリフォーム助成は、個人の資産形成にかかることから困難であり、公共的な環境対策、福祉施策等の一環であることが必要です。今後、地球

市政一口メモ

※1 グリーン電力証書
再生可能エネルギーによって得られた電力の環境付加価値を、取引可能な証書に

したものを、またはそれを用いる制度を指す。再生可能エネルギーに対する助成手法の一つである。グリーン

電力と呼ばれるものには、風力発電・太陽光発電・水力発電・バイオマス発電などがある。

市政 一口メモ

※2 自治会振興費——市
民が自主的に組織する自治
会が、地域振興を図るため
に行う事業および活動等に

対して、審査を経て基準に
より算定した額を交付する
補助金のこと。補助の対象
については、防犯灯の施設

費、電気料および維持費、
自治会単位で行う共同作業
費等となっている。

温暖化対策の推進を目的とする断熱改修や安全安心の住まいづくりを目的とするバリアフリー改修等が、重要な位置を占め、地域の活性化にもつながると思われるので、制度の導入について調査研究していきたいと思えます。

扶桑団地内排水対策

問 扶桑団地内排水対策について

建設水道部長 扶桑団地は昭和44年から46年にかけて栃木県開発公社が開発したもので、雨水は道路両側に設置されましたU字溝により排水されています。しかし、U字溝や集水ますにごみが集まり、集中豪雨時には一時的に排水機能が低下し、道路が冠水することがあります。地域の皆様にも側溝清掃にご協力いただいています。市としても定期的に清掃し、排水機能を十分發揮できるように、維持管理して

いきます。



集中豪雨時に冠水する扶桑団地内の道路

新間中橋へのアクセス道路整備

大出ハマ

問 新間中橋から寒川地区中里・県道160号線への取付道路の新設は。

建設水道部長 新間中橋が完成したことにより、寒川・中地区から新間中橋へのアクセス道路を整備することは、小山市街地への道路網の拡充や思川西部地域の利便性が図られますので、道路整備計画の中で検討していきたいと考えています。

中公民館改修

問 老朽化した中公民館を今後の交流拠点として改修できないか。

教育部長 公民館は、社会教育施設として、地域住民の生涯学習の支援、振興のため活動を行っており、その目的達成のため、地域の実情に応じた必要な機能、設備を備えた施設です。中公民館は昭和55年に建設し、平成



改修が求められる中公民館

17年には図書室を増築し、機能の充実を図ったところ。その後の利用状況については、狭隘の中でも数多くの講座等が実施されており、中公民館は地域学習のため大きな役割を担っています。そのため、早急に検討し、整備するよう努めていきます。改修に当たっては、現在のところ別の棟を建設するよう考えており、詳しい中身については、地域の方々と協議を進めながら決定していきたいと思えます。

職員の意識改革

角田良博

問 心理的負荷により体調不良を起し、休暇をとっている職員がいるが、職員の意識改革はできないのか。

市長 行政の担い手である職員には、主体性と想像力を発揮して業務に臨む高い意識と政策形成等のすぐれた能力が必要になっていることから、職員に対し、時には叱咤激励の意味で厳しく指導することも必要であると考えています。

市民病院経営安定化

問 市民病院は、現在の場所で老朽化した北病棟を建て替え、コスト削減を図り、経営の安定化を目指すべきでは。

市長 市民病院は、北病棟の施設の老朽化等により、入院患者の受け入れができない状況になっており、稼働率が減少しています。また、医療機器の老朽化、アクセス道路の狭さ、駐車場不足、建物配置上の非効率化など、ハード面の問題点も抱えていることから、こうした点を改善すべく、新

病院の基本構想を練っているところです。地域医療再生臨時特例交付金を有効に活用し、新しい場所へ移転改築することによりこれらの課題は一気に解決されるものと確信しています。また、移転に向け、経営形態の改革を計画的に進めていきます。



老朽化した市民病院北病棟

消防団員の確保

小川 亘

問 小山市消防団員の確保の取り組みは。

市長 小山市の現在の消防団員数は、631人で条例定数645人に対し14名の欠員が生じており、実員が年々減少する傾向にあります。自営業者の減少と被雇用者の増加により、年々消防団員の確保が難しい状況ともなっています。条例で定める小山市消防団員の任用の条件が「分団の区域内に居住する者」に限定されていることから、「小山市内に住所を有する者」と見直しを行うとともに、「市内の事業所に勤務する者、市内の学校に

在学する者」と改め、任用要件の緩和を図るよう条例を改正するものであり、消防団員が活動しやすい環境づくりを行い、消防団員の確保と防災力の強化に努めます。

若木町三丁目グラウンド整備

問 若木町三丁目グラウンドに水道とトイレを設置できないか。

都市整備部長 周辺に公園などがなく、地域の方々の憩う貴重な広場として活用されている若木町三丁目グラウンドについては、地元の皆様のご意見、ご要望を伺いながら、グラウンドの位置付け及び都市公園として整備する場合の制約などを考慮の上、整備方法について検討していきます。



整備が望まれる若木町三丁目グラウンド

市民病院の予算執行状況

山野 井 孝

問 小山市市民病院の医師三人が退職、産科、脳外

科、眼科が休診状態の中での本年度の予算執行状況について伺いたい。

病院事務部長 4月分の医業収益は前年度より4000万円少ない5億1000万円、医業費用は医師数の減による診療科の休止に伴う材料費の減のため前年度より2400万円少ない2億5300万円、医業利益は前年度より1600万円下回る2億5700万円の赤字となり、これに医業外収支1600万円を加えた4月分の事業収支は、前年度より2600万円下回る2億7300万円となります。平成23年度の予算は、現在の医師数からすると過大ですが、医療収益を上げるためにも3診療科の再開と他科における収益の増収に努めます。

保育所等の土曜、日曜の対応

問 節電対策として企業が実施する休日振替にあたり、保育所、学童保育館の土曜、日曜日の対応を実施できないか。

保健福祉部長 現在、各施設を通して保護者のニーズ調査を実施しています。その結果をもとに夏場における延長保育の時間の見直しや土曜、休日保育の実施箇所の拡大など、7月から実施できるよう取り組んでいます。休日の変更が決定していない企業もあることから、今後の状況を注視し、状況に応じて対応していきます。



土曜、休日保育を実施しているやはた保育所

議会だより

表紙写真募集

- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせて小山市内の季節感のあるものを募集しています。
- あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
- 問い合わせは・・・議会事務局（☎22-9463）までお気軽に！

市政
一口メモ

※3 特別養護老人ホーム
— 身体上、または精神上
著しい障がいがあり、介護
保険制度で介護の必要があ

る「要介護」の判定が出た
人が利用可能な、老人福祉
施設の中の一つ。略して「特
養」と呼ばれることもある。

常時の介護が必要な寝たき
りの老人、認知症の高齢者
の入所が多くなっている。

東日本大震災への対応

岩崎 昇

問 東日本大震災への対応 (1)第二次補正予算の
考えは。(2)平成23年度予算に関し、事業見直し、
廃止の考えは。

企画財政部長 第二次補正予算については、復興
予算の議論はなされていますが、どのような内容
でいつ補正になるかは、現在のところ不明です。
国の二次補正についても、特に甚大な被害を受け
た東北三県などを中心とした復興予算であり、小
山市に影響のあるものは現在のところないと思わ
れるため、関連する事業の見直し、廃止等を行う
予定はありません。

特別養護老人ホームの設置状況

問 福祉行政について、高齢者が入所したくても
できない理由について伺いたい。

保健福祉部長 小山市における特別養護老人ホー
ムの設置状況は、広域型5カ所409床、小山市
民のみが入所できる地域密着型3カ所49床ありま
す。今年度新たに地域密着型1カ所29床が整備さ
れる予定で、合計9カ所487床です。現在入所
の申し込みをしている人で居宅待機者は152人
となっています。今年度、「すこやか長寿プラン
2012」を作成するにあたり、県の「はつらつ

プラン」との整合
性を図りながら、
特別養護老人ホー
ムの増床計画につ
いて検討します。



小山産農畜産物の学校給食使用

五十畑 一幸

問 地産地消について、小山産の農畜産物を学校
給食などにできるだけ使用してほしい。

教育部長 学校給食においては、月1回のオー
ル小山食材の日に、小山産の野菜、おやま和牛、小
山産大豆の納豆、小山の豚おとななどを使用して
おり、日常的にも市内の農畜産物を納入してもら
えるよう、納入業者に依頼しています。なお、ハ
トムギは年に11回、米パンは年24回、米粉は月に
1〜2回使用しており、小山産納豆や小山の豚お
とななどは、通常の給食でも使用することを推奨
しています。学校の児童や生徒にとって生産者の
顔が見える給食は、有意義なものと考えています。



市内の特別養護老人ホーム

市道30号線歩道整備

問 市道30号線(東野田地内)の歩道整備につい
て、いつから調査測量を開始するのか。

建設水道部長 今年度は通学路に指定されている
県道明野・問々田線か
ら市道4号線との交差
点までの720mの区
間について、8月下旬
から調査・測量業務を
実施する予定です。今
後、道路法線等整備計
画について、事業説明
会の開催等、地元の方
と協議しながら、事業
を推進していきます。



市道30号線 (東野田地内)

放射能測定

中屋 大

問 小山市では放射能の土壌検査は行ったのか、
行う予定はあるのか。

保健福祉部長 県では5月13日から19日に、県内
の全小中学校、高校等の校庭などで放射線量を測
定しました。その結果、市内の測定値は文部科学
省で示した値を大きく下回りました。今後も継続
的に放射線量を測定するため、市では測定器を13
台購入し、各公民館、全小中学校等で計測の試行
を行い、6月13日から本格的に計測を実施してい
ます。砂場や校庭などの土壌検査については、県
に要望し、働きかけていきます。

私立高校・中高一貫校誘致

問 小山市に学力の高い私立高校または中高一貫校の誘致はできないか。現在の進捗状況はどうなっているか。

副市長 市では県内の私立高校を対象に粘り強く誘致の働きかけをしてきましたが、実現に至っていません。このことから、「私立高校等誘致構想策定懇話会」を昨年8月に立ち上げ、委員の意見を集約し、今年3月、「小山市私立高校等誘致構想」を策定しました。今後は、この構想に盛り込まれた方策をもとに事業の推進を図っていきます。



市で購入した放射線測定器

農業・商業・工業支援

野原 勇一

問 成長戦略について、市内企業のさらなる活性化対策と、農業・商業・工業における今後の支援体制はどうか。

市長 小山市は人と企業を呼び込む施策を推進し、

その中で農業・商業・工業の推進を図っています。農業への支援体制は、国が実施する農業者戸別所得補償制度の支援や、農地流動化奨励金交付事業等を実施します。商業への支援体制は、小山ブランドとして、小山市の誇れる自然や歴史・文化等の地域資源を最大限に活用し、人を呼び込む観光事業を積極的に推進します。工業への支援体制は新規工業団地開発事業による産業基盤の整備に取り組みとともに、企業立地優遇制度により企業誘致を強力に推進し、産業の集積を進めます。

地域格差、今後の計画と展望

問 地域格差について、都市計画から離れた地域の生活基盤格差について、今後の計画と展望を伺いたい。

建設水道部長 各自治会等の要望を受け、農村部の集落内の生活道路、集落間をつなぐ幹線道路等の整備を積極的に実施しています。また、各地域でまちづくり研究会等を組織していただき、地域の意向に沿った効果的な整備を推進しています。



生活基盤の整備が望まれる農村地域

新小山市民病院建設整備計画

荒井 覚

問 新小山市民病院建設整備計画の具体的な進捗状況は。

病院事務部長 建設スケジュールは、今年度用地取得および基本計画の策定、平成24年度から基本設計・実施設計を行い、平成25年度工事着工、平成27年度開院としています。基本構想の内容を新病院の運営や施設に反映させるため、院内に16の部会を設置し検討を行っており、建設懇話会や各種委員会とも協議を行い、新経営形態を本年12月までに決定し、平成24年度に変更の準備を行い、平成25年度からは現病院で新経営形態を試行しながら、経営改善を図り、平成27年度の開院とともに本格導入したいと考えています。

大沼周辺地区土地利用計画

問 桑地区の大沼周辺地区土地利用計画の進捗状況は。懇話会はいつ立ち上げるのか。

市長 「小山市大沼周辺地区整備基本計画」を見直す中で、施設整備のあり方などを含めた大沼周辺の土地利用計画についても策定することとしており、効率的かつ実効性のある成果が得られるよう、業務委託の手続きなどを含め、準備を進めています。計画策定に当たり、地元の方の意向が充分反映されるよう、7月下旬から8月上旬頃に最初の懇話会の開催を予定しています。



整備予定の大沼周辺地区

市政一口メモ

※4 中高一貫校——中学校から無試験あるいはそれに近い形で併設・連携の高等学校に進学できるシステム

ム（中高一貫教育）を取っている学校のことをいう。また、最近では既存の中学校と高等学校を統合した中

等教育学校を呼ぶこともあ

個人質問から(質問順)

通学路の総点検

生井貞夫

問 登校中の交通事故が発生しているが、市内全小中学校の通学路の危険箇所について、総点検を実施し、対応しては。
教育長 通学路における児童生徒の交通事故防止対策については、登校時における交通指導員による交通指導を始め、PTAや学校ボランティアの方々による見守りや立哨、通学路の巡回、加えて一斉下校や集団登下校などの各学校での工夫、教職員や教育委員会職員による下校指導や通学路の巡回、青色回転灯パトロールカーの運行など、地域の皆様の協力を得ながら、児童生徒の安全確保に努めています。危険箇所等の総点検については、市民生活部と連携を図って実施に向け検討していきます。

防犯カメラ設置

荒川美代子

問 防犯対策として小山駅南口新幹線高架下の公共駐輪場に防犯カメラを設置しては。
市民生活部長 駅南口新幹線

高架下の公共駐輪場では、指定管理者である小山市シルバ―人材センターから業務報告にて同駐輪場の自転車6台が盗難の被害に遭ったとの報告を受けています。市としては、監視員に対し、盗難防止のための巡回の強化、ツーロックの指導強化をお願いしており、既に盗難防止啓発の看板設置、駐輪場に照明を設置し、明るくするなど予防措置をとっています。また、駐輪場の今後の盗難発生状況を見据え、防犯カメラの設置についても検討します。

喜沢地区下水道整備

岡田裕

問 喜沢地区の下水道整備スケジュールは。
市長 喜沢処理分区の平成22年度末までの進捗状況は、若木町三丁目、喜沢南部、喜沢中部、喜沢北部、羽川南地域及び県道栗宮―喜沢線、国道4号などに、直径200ミリから600ミリの污水管を延長1万4375mの布設を完了させ、平成22年度末の供用開始区域面積は約36・1haとなり、現在303軒が水洗化への切換えを完了しています。本年度の予定は、若木町

三丁目および喜沢南部、中部、羽川南地区の約15haの整備を予定しており、平成24年度以降の整備は、道路幅員の狭い市道や私道路内に污水管を整備していく予定で、平成28年度までには喜沢地区の下水道整備を完了させる計画です。

メガソーラー

森田晃吉

問 小山市に、メガソーラーをソフトバンクと共同で建設することはできないか。
市民生活部長 ソフトバンクは、自然エネルギーを推進するため、再生可能なエネルギーによる電力普及を推進する自然エネルギー協議会を設立すると発表しました。この協議会は、再生可能エネルギー事業に参入するソフトバンクと自治体が共同で、国に対して制度整備や規制緩和などの政策提言を行うものです。栃木県においては、ソフトバンクから協議会の案内がなかったため参加していない状況です。市としては、環境都市の実現に向け、太陽光発電の普及を推進していることから、建設については用地の確保などの課題を研究するとともに、自然エネルギー協議会は県単

位の参加のため、参加するよう県に働きかけていきます。

旧間々田公民館跡地

小林英恵

問 旧間々田公民館跡地については、今後開催される3回程度の懇話会で方向性を決めるようだが拙速ではないか。
市長 旧間々田公民館跡地の利用については地元から要望等をいただいたしており、市議会等からも、十分地元の意見を聞いて、利用計画を策定してほしい旨の意見をいただいています。これを受け、旧間々田公民館跡地の有効利用を図るため、小山市旧間々田公民館跡地利用検討懇話会の設立準備が整いましたので、今年中に利用の方向性を答申していただくたいと考えています。

3回の懇話会で方向性が定まらない場合、あるいはパブリックコメントが必要な場合には、懇話会で検討し、議論していきたいと考えています。

市道37号線

篠崎佳之

問 市道37号線(間々田南通り)開通の見通しは。
市長 小山市と野木町では、

小山市の都市計画道路、間々田東通りと野木町の都市計画道路、野木中央通りを連結する新設道路の計画を進めており、今年度末の都市計画決定を目指しています。市道37号線については、間々田地区における道路網の骨格を形成することから、楓山地区まちづくり推進団体において勉強会を開催するなど早期整備に向けた活動を展開しています。今後は、平和地区においても勉強会を開催し、野木―小間新設道路の計画とあわせて整備推進に向けた検討を進めたいと考えています。

財政中期目標

荏部勉

問 小山市長期ビジョンや総



有効利用が求められる旧間々田公民館跡地

合計画の中に、財政に関する中長期にわたる目標を数値化して明確にできないか。

副市長 財政の健全化を一番の課題として、総合計画に基づき5力年の中期財政収支見込みを作成し、将来的な財政状況を見通しています。具体的には経常収支比率の80%台前半の維持、人件費比率の県内都市平均以下への引き下げ、投資的経費比率の県内都市平均以上の確保、平成20年度市債残高の970億円から5年間で35億円以上の削減、標準財政規模に対する財政調整基金7%、市債管理基金3%以上の確保など、目標を数値化しています。特に市債残高の減少については、市債管理計画を作成し、新規に借りる額を返す額より少なくする基本方針のもと、今後も計画的かつ着実な市債残高の減少に努めます。

祇園城跡地整備

植村 一

問 小山駅西口の中心市街地活性化のための祇園城跡地及び周辺の整備と有効利用について伺いたい。

市長 平成14年度に小山市国史跡祇園城整備委員会を組織

し、史跡全体を城山公園部分と小山御殿広場部分に区分し、整備計画の検討を開始しました。御殿広場は、市役所に面し、アクセスに恵まれた立地条件を備えています。同広場を憩いの場として整備するとともに、さまざまなイベントを開催するほか、勉強会を開催し、多くの人が集まり、中心市街地の活性化が図られるよう計画を進めていきます。一方、城山公園は、市内外から人が集まり、魅力的な公園とするため、整備基本計画を踏まえ、城山公園再生整備の基本構想を策定し、整備を進めます。



市役所に隣接する小山御殿広場

第二犬塚踏切拡幅

福田 幸平

問 J R水戸線第二犬塚踏切

の拡幅について、これまでの経緯と現在の進捗状況、今後の方針は。

市長 平成17年6月に犬塚自治会から、その後平成23年3月に地元小学校PTA等からも要望があり、JR東日本大宮支社と協議をしたところ、補助採択基準を満たしていないため、市の単独費で実施することをJR側に申し入れ、平成22年度に事前協議に必要な図面等を作成しました。今年度は、JRと事業化に向けて事前協議を進め、計画内容の合意形成を図っていきます。整備については、既に事前協議を実施している県道境間々田平和踏切、市道265号線飯田踏切の改良がありますので今後事業実施時期等についてJRと協議していきます。

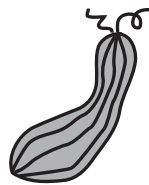
福祉委員設置

大木 英憲

問 福祉委員の設置について、超高齢化社会が進む中、地域社会で見守る体制を強化するため福祉委員を設置してはどうか。

保健福祉部長 地域住民と協力し、地域の見守りや地域の福祉課題を解決することを目的に、県内においては、宇都

宮市、足利市など6市の社会福祉協議会で設置されています。地域住民と協力し、地域の見守りを行っていくことは必要であると認識しており、既に桑地区で安心サポーターにより高齢者の見守り活動が実施されています。今後このような活動を全市に広げていく考えですので、福祉委員の設置については、これを踏まえ関係機関と協議しながら研究してまいります。



次回定例会の予定

9月1日(木)	本会議 (開会・議案上程)
9月5日(月)	本会議 (一般質問)
9月6日(火)	本会議 (一般質問)
9月7日(水)	本会議 (一般質問)
9月8日(木)	本会議 (一般質問・付託)
9月12日(月)	常任委員会
9月13日(火)	常任委員会
9月14日(水)	常任委員会
9月15日(木)	常任委員会
9月27日(火)	本会議 (採決・閉会)

※本会議および常任委員会の開会時刻は、午前10時からとなっていますが、変更になる場合があります。また、正式な日程は後日開催される議会運営委員会において決定しますので、ご了承ください。

本会議のテレビ中継

テレビ小山放送(5チャンネル行政テレビ)で生放送および録画放送を行っています。また、中央図書館で録画ビデオ・DVDの貸し出しを行っています。

臨場感あふれる議会中継をぜひご覧ください。

議会日誌

〔4月〕

▽7日 議会広報委員会

〔5月〕

▽2日 新任議員説明会

▽10日 議員全員協議会

▽18日 会派代表者会議

▽20日 議会運営委員会／会派代表者会議

▽30日～31日 栃木県市議会議長会議

〔6月〕

▽1日 議会運営委員会／議員全員協議会／会派代表者会議／議員研修会／議会広報委員会

▽2日～3日 関東市議会議長会定期総会

▽7日 会派代表者会議／議員説明会

▽10日 会派代表者会議／議会広報委員会

▽13日 正副常任委員長会議

▽15日 全国市議会議長会定期総会

▽16日 民生消防常任委員会

▽17日 教育経済常任委員会

▽20日 建設水道常任委員会

▽21日 総務常任委員会／会派代表者会議

▽28日 議会運営委員会／会派代表者会議

〔7月〕

▽8日 会派代表者会議／議会改革推進協議会

▽11日～14日 新任議員研修会

▽15日 議会広報委員会／市民病院に関する勉強会

派代表者会議／市民病院整備対策特別委員会

表彰

6月に開かれた全国市議会議長会定期総会の席上、次の議員が表彰されました。

議員在職20年表彰



角田 良博議員

議員在職20年表彰



石島 政己議員

議員在職30年表彰



松島 不三前議員

議場見学

〔5月〕

▽25日 小山城南小学校・129名

〔6月〕

▽2日 豊田南小学校・32名

▽3日 寒川小学校・13名

間々田小学校・94名

視察来訪

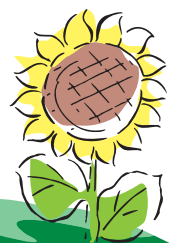
〔7月〕

▽13日 新居浜市（愛媛県）7人

行政経営品質率先活動等について

暑中お見舞い 申し上げます

- | | |
|--------|--------|
| 議長 | 野村 広元 |
| 副議長 | 塚原 俊夫 |
| 大木 英憲 | 福田 幸平 |
| 野原 勇一 | 苅部 佳之 |
| 荒井 晃吉 | 篠崎 守行 |
| 森田 洋一 | 橋本 大孝 |
| 福田 昇 | 山野 美代子 |
| 岩崎 巨 | 関川 良平 |
| 小川 美智子 | 石川 正雄 |
| 青木 智子 | 大井 貞夫 |
| 角田 良博 | 生井 正夫 |
| 山口 忠保 | 大山 典男 |



小山市議会は公職選挙法の遵守はもとより、議員本来の使命に専心するため、初盆のご挨拶ならびに暑中お見舞いのご挨拶は自粛しています。

市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。小山市議会議員一同

編集後記

▼梅雨に入ってから暑い日が続いている。そんな中、電気事業法27条に基づく電力使用制限令が発動された。企業などは、15%削減、家庭にも15%の自主的な節電を要請し、節電の夏が本格的にスタートする。

▼7月に入り各地で猛暑に見舞われている。ホームセンターなどでは夏を涼しく過ごすための、ヨシズやすだれなどを買いに来る人が多くなった。「夏は暑い、その暑さが減じたときは、涼しく感じる。」先人たちが色々知恵を出して考えた暑さ対策を見習い、楽しんでエコな夏対策をしたい。

▼そんな「涼し」を感じる前に暑さにやられてはどうしようもない。体調を崩さぬよう、水分補給に抜かりなく過ごしたい。

福田（洋）



小山市ホームページ <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>

◆6月定例会の傍聴人数は、本会議197人（6月7日=2人・9日=28人・10日=25人・13日=49人・14日=78人・28日=15人）常任委員会4人（6月16日民生消防=3人・17日教育経済=1人・20日建設水道=0人・21日総務=0人）